



人とともに 地域とともに

島根大学  
SHIMANE UNIVERSITY



## 人間社会科学研究科 修士論文発表会

人間社会科学研究科では、下記の日程で3月修了者の修士論文発表会を開催します。

参加を希望される方は、「学外者の参加手続きおよび注意事項」をご覧ください、メールで下記の申し込み先までご連絡ください。

日 程：社会創成専攻 令和8年2月3日（火）13：00～  
臨床心理学専攻 令和8年3月9日（月）  
（但し、臨床心理学専攻発表会は非公開）

発表内容：別紙発表リストのとおり

申 込：お名前、ご所属、社会創成専攻発表リストにある  
参加希望の研究題目をお知らせください。

申込期限：1月30日（金）17時

※お知らせいただいた連絡先は、本発表会の事務手続きに使用し、他の目的で使用しません。

【申し込み・問い合わせ先】

島根大学 松江地区学部等事務部学務課

e-mail：hs-gakumu@office.shimane-u.ac.jp

## 別紙 発表リスト

○	公開可
△	限定公開
×	非公開

### 社会創成専攻

#### 第1部会

No.	氏名	研究題目	公開制限
1	浅山 和則	相続財産の時価評価を利用した租税回避の否認	○
2	安部 心	必要経費の該当性に関する一考察	○
3	ZHENG KAILUN	地域通貨の成否を分ける要因—さるぼぼコインとEGGの比較分析に基づく研究—	○

#### 第2部会

No.	氏名	研究題目	公開制限
1	福田 ことり	日本海沿岸地域出土陶質土器からみた古墳時代における地域間交渉について	○
2	YOU SHIHONG	南宋裁判における誓約書について—宋代の裁判は調停であるのか	○
3	LIN YINA	フェミニズムの視点から読み解くSNSと現代中国のジェンダー不平等—鄭靈華事件とインタビュー調査を手がかりに—	○

#### 第3部会

No.	氏名	研究題目	公開制限
1	井上 董	地域の祭事を「継承」「復活」するためのデジタルアーカイブ化の課題—愛媛県の亥の子の事例を用いて—	○
2	鵜飼 壮一郎	公務員制度と結びつくアーカイブズ専門職の形成:ドイツのアーキビスト制度史と日本への示唆	○
3	YIN WENJING	莫言『豊乳肥臀』における女性像—母性とジェンダー秩序を中心に	×

#### 第4部会

No.	氏名	研究題目	公開制限
1	平野 瑛士	大学生におけるクロノタイプと生活習慣の組み合わせが2年後の主観的健康観に与える影響	○
2	前澤 由梨	慢性期統合失調症に対するオープンダイアログに基づいた対話実践の有効性 ～尊厳の尊重とリカバリーの視点から～	○
3	FANG TONG	家族機能と問題行動の関連における自尊心の媒介効果:中国農村地域における自閉スペクトラム症児を対象とした検証	○
4	高橋 佑紀世	本藍染め綿布の実使用を想定した退色・色移り特性の評価	○
5	中村 優斗	日本人の糖尿病リスクにおける糖代謝関連遺伝子KCNQ1多型のハプロタイプによる影響	○
6	柳瀬 友香	バイオフィルム抑制剤の添加によるカテキン塗布不織布の抗菌性能の向上	○

## 別紙 発表リスト

### 臨床心理専攻 ※非公開

No.	氏 名	研究題目
1	伊藤 彩乃	混沌を生きる10代女子との面接課程 —クライアントの語りと二次創作小説を書くことに着目して—
2	井上 大輔	多様化する現代のイニシエーション —理想と現実との差に苦しむ思春期男子の事例から—
3	恵良 幸裕	非24時間睡眠覚醒症候群を訴える前思春期男子とのプレイセラピー —リズムの視点からの考察—
4	大岩 琴葉	「母なるものの元型」イメージに触れながら新たな自己像を生み出そうとするプロセス
5	下川 真名美	プレイセラピーにおけるスライムの役割について —問題行動を呈した「よい子」の事例より—
6	田中 直美	主体の立ち上がりにおける曖昧さの意義 —曖昧な世界を生きる女子とのプレイセラピーより—
7	飛田 彩美	主訴のないクライアントに主訴が生まれるまでの—考察 —時間に対する志向性と「第三のもの」の視点から—
8	中前 洸太郎	ボードゲーム上での対決を求める小学生男子とのプレイセラピー
9	西垣 久美子	遊びの不確実性を抱えるプレイセラピー 空間に関する—考察
10	藤井 美李乃	情動制御に困難を抱える小学生男児とのプレイセラピー —「破壊」の表現に着目して—
11	松本 朋美	高校生女子の主体形成のプロセスに関する考察 —否定の働きに着目して—

## 学外者の参加手続きおよび注意事項

島根大学大学院人間社会科学研究科では、2023 年度より修士論文発表会を学外の皆様にも公開することといたしました。参加をご希望の場合は、下記を熟読のうえ、お申し込みください。折り返し参加方法をご案内いたします。なお、研究発表の内容等によっては公開を制限（非公開を含む）する場合があります。

### 記

プログラムをご参照いただき、発表もしくは会場に制限があるか否かをご確認ください。

- ① 申込先まで、メールでご連絡ください。折り返し参加方法をご案内します。  
（社会創成専攻の発表会は、4 会場に分かれております。ご希望の研究題目をお知らせください。）
- ② プライバシー保護等の観点から非公開としている発表もしくは会場の場合申し訳ありませんが、学外の方は参加できません。
- ③ オンライン参加の場合は、できるだけ本人確認ができる状態（画面に顔出し、音声はミュート）でご参加ください。
- ④ 会場参加（制限のない発表もしくは会場）の場合は、当日会場にお越しください。
- ⑤ 運営の都合上、学外の方の発言はご遠慮ください（ただしチャットでの質問は受け付けます）。

なお、オンライン参加、会場参加のいずれの場合も主催者の許可なく録音・録画等はできません。

### ⑥ その他

主催者からの指示に従い円滑な発表会の運営にご協力ください。なお今後の運営等の参考とするため発表会終了後のアンケートにご協力いただく場合があります。